

▽異物混入問題に関する説明  
冒頭、地域の皆様に対するお詫びと現在、構内企業一体となつて全体的な作業管理の品質向上と意識改革に取り組んでいる旨の報告

東電から圧力抑制室プールへの異物混入についての説明がありました。

■前回定例会以後の動きについて

第7回定例会を開催しました

日時 平成15年11月6日(木) 18:00～19:45  
場所 柏崎原子力広報センター・研修室  
出席者 21名(欠席3名)  
説明者 東京電力㈱、柏崎市長  
オブザーバー 新潟県、柏崎市、刈羽村、西山町、地域担当官事務所、保安検査官事務所  
内容 ・前回定例会後の動き  
・原子力の安全規制について

サプレッションプールで確認された異物

(平成15年11月6日時点)

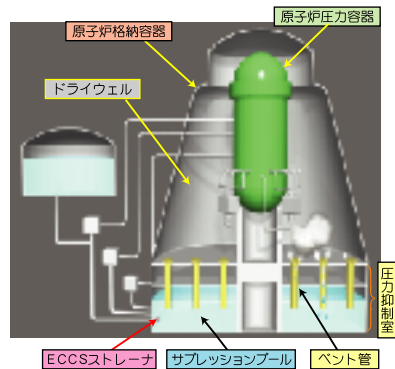
調査対象プラント (停止中プラント)	確認・回収された異物				備考
	工具類	機材類	消耗品類	合計	
1号機	2	1	55	58	10/25調査終了
2号機	0	0	36	36	10/30調査終了
3号機	0	0	26	26	10/23調査終了
5号機	0	0	15	15	10/30調査終了
7号機	0	0	23	23	11/1調査終了
計	2	1	155	158	

(注)1号機で確認・回収された工具・機材類は、電動グラインダー、プライヤ、懐中電灯の3点

- \* プールは3～5年周期で点検。前回も消耗品類を回収。
- \* 工具類は再循環系配管の補修時のものと推定。

サプレッションプール  
(圧力抑制室)について

- ・再循環系配管などの配管が破断し、格納容器内に高温・高圧の蒸気が充滿する様な事象時に、ベント管を通じて蒸気を逃がすためのプール
- ・同時に、破断した配管からの漏洩による原子炉水位の低下を補つための、非常用炉心冷却系の水源
- ・貯蔵容量は約4,000ト



○圧力抑制プール異物問題

グラインダー、作業靴、ビデオテープの状況

グラインダー



・養生されていなかったベント管開口部からポリ袋に入った状態で落下したと思われます。

作業靴



・放射線管理レベルの違う境界点では、作業靴を履き替える管理を実施  
・脱いだままの作業靴が、開口部からプールに落下する可能性があります。

ビデオテープ



・再循環系配管の補修工事の最終段階で、配管内に異物が無いことをCCDカメラで確認  
・その状況を記録に残すために、ビデオテープを使用していました。

※少し離れた所にビデオデッキと未使用のビデオテープを仮置きしていました。

落下したと考えられる箇所

